

令和8年5月15日20時22分頃の宮城県沖の地震について

令和8年5月15日20時22分頃に発生した宮城県沖を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5弱を観測

震度5弱 宮城県

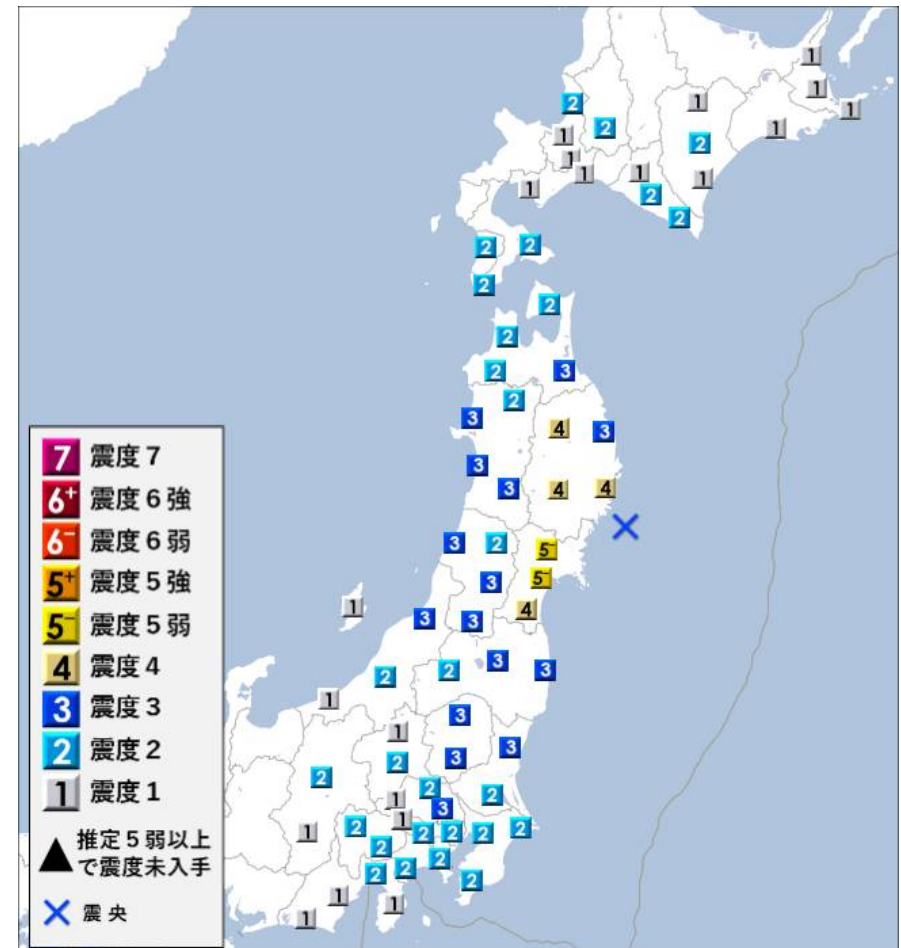
(揺れの強かった地域)

落石や崖崩れなどに注意

※1週間程度(特に今後2~3日の間)

最大震度5弱程度の地震に注意

5月15日20時27分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	5月15日20時22分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	5月15日20時22分
マグニチュード	6.4(暫定値;速報値の6.3から更新)
発生場所	宮城県沖 深さ46km(暫定値;速報値 深さ50kmから更新)
発震機構	西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
震度	【最大震度5弱】宮城県の登米市(とめし)・大崎市(おおさきし)・石巻市(いしのまきし)など、合計3つの市町村で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4~1を観測
地震活動の状況 15日21時50分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震の発生なし
長周期地震動の観測状況	宮城県北部で長周期地震動階級3を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

(今後の地震活動の見通し)

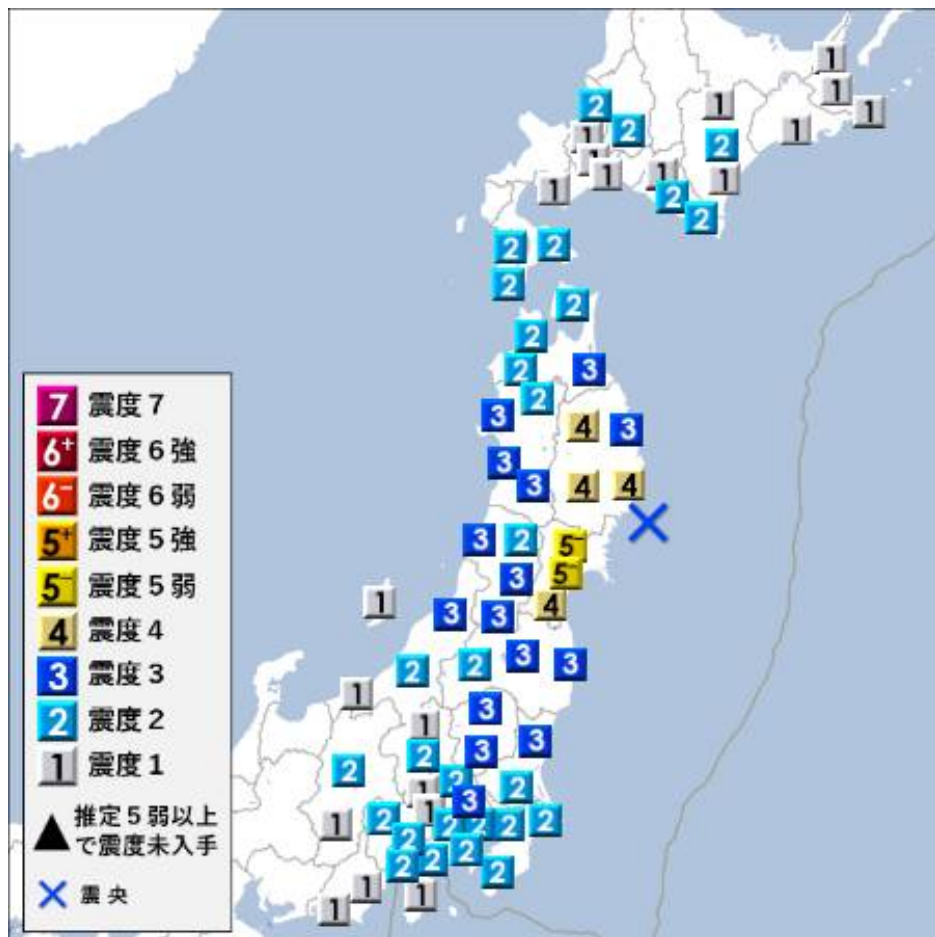
過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

(今回の地震と北海道・三陸沖後発地震注意情報との関係)

今回の地震は、北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表基準に該当する地震ではありません。

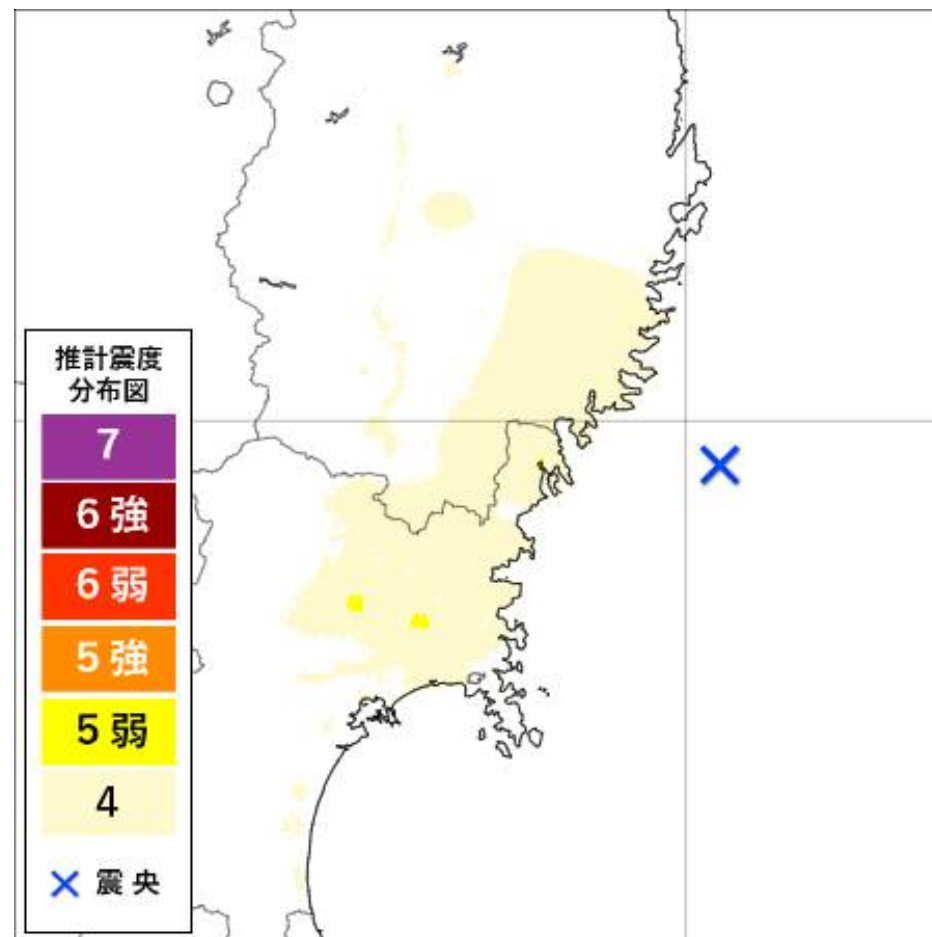
震度分布図・推計震度分布図

【各地域の震度】



5月15日20時27分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

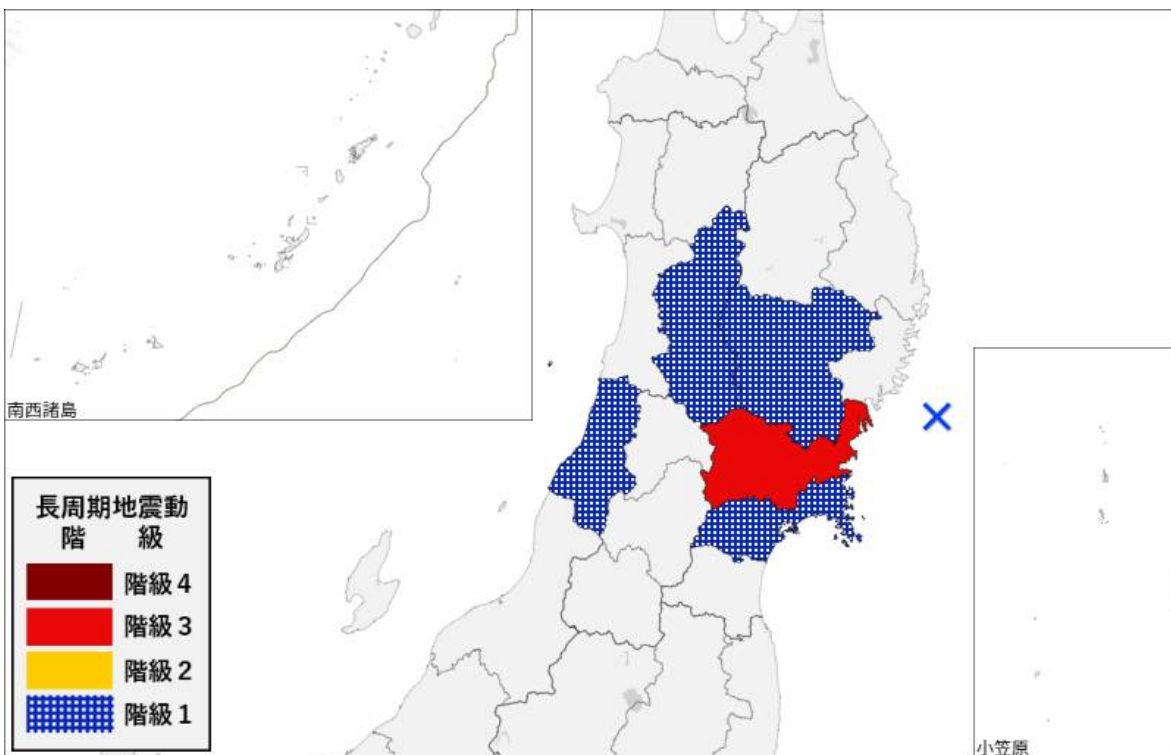
地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

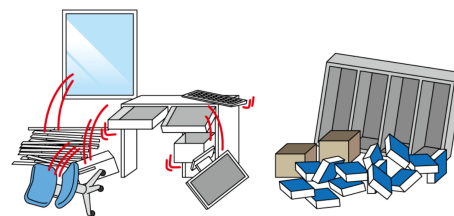
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級3	宮城県北部
階級1	宮城県中部 岩手県内陸南部 秋田県内陸南部 山形県庄内

5月15日20時33分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

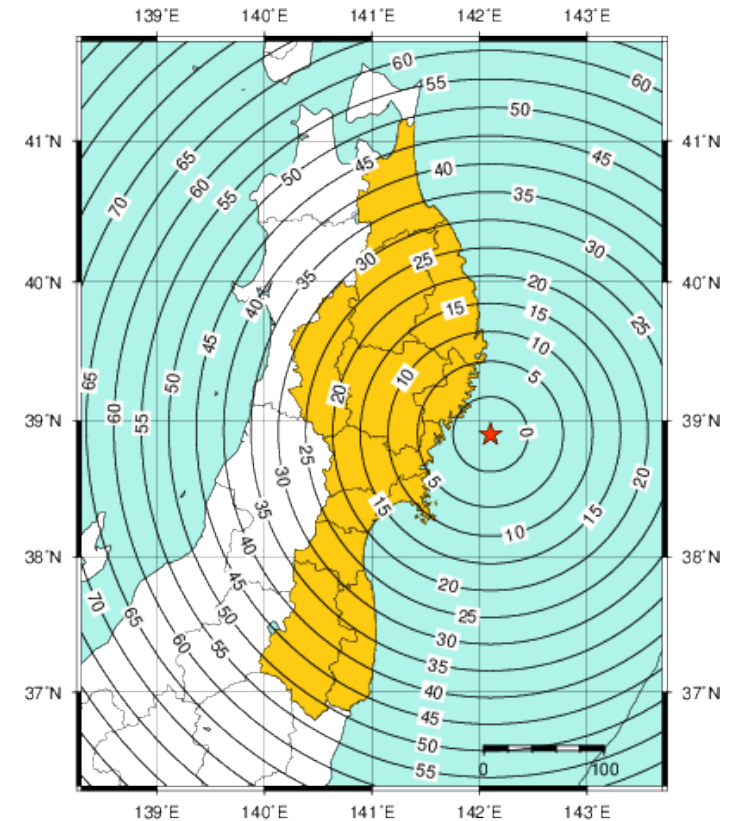
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素				予測した 震度と階級	
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ		M
第4報	20時22分16.4秒	6.8	宮城県沖	38.9	142.1	40km	6.3	※3
※3	震度5弱程度	宮城県中部						
	震度4程度	岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、宮城県北部、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、宮城県南部、青森県三八上北、福島県中通り						
	震度3から4程度	秋田県内陸南部、福島県浜通り						

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

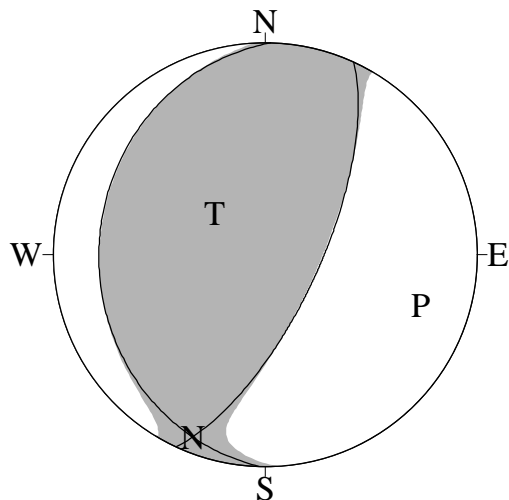
発震機構解

05152022

西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT解(速報)]

Mw=6.6



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

北緯 38度54分

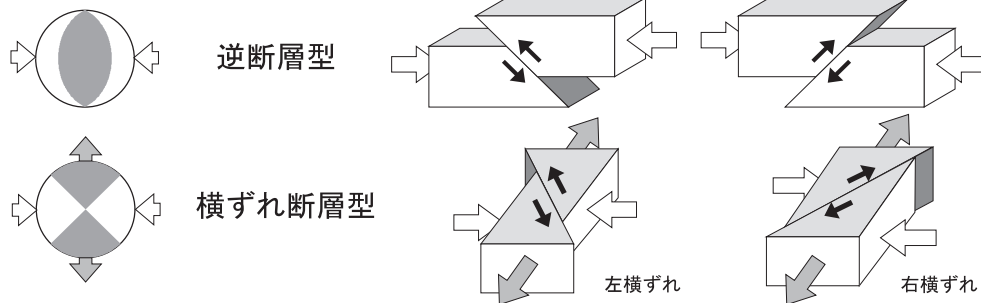
東経 142度9分

深さ 約40km

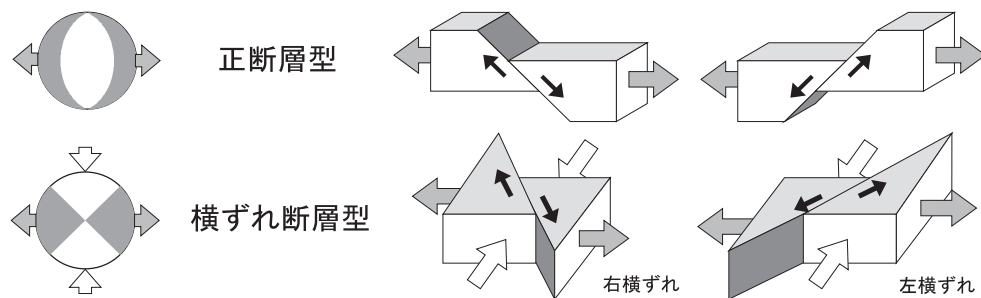
セントロイドの位置とは、地震の断層運動を1点で代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について

圧力軸に注目した場合の例



張力軸に注目した場合の例



⇒ ⇐ 圧力 (押し力) ⇐ ⇒ 張力 (引く力) ⇄ 断層がずれる方向

気象庁作成

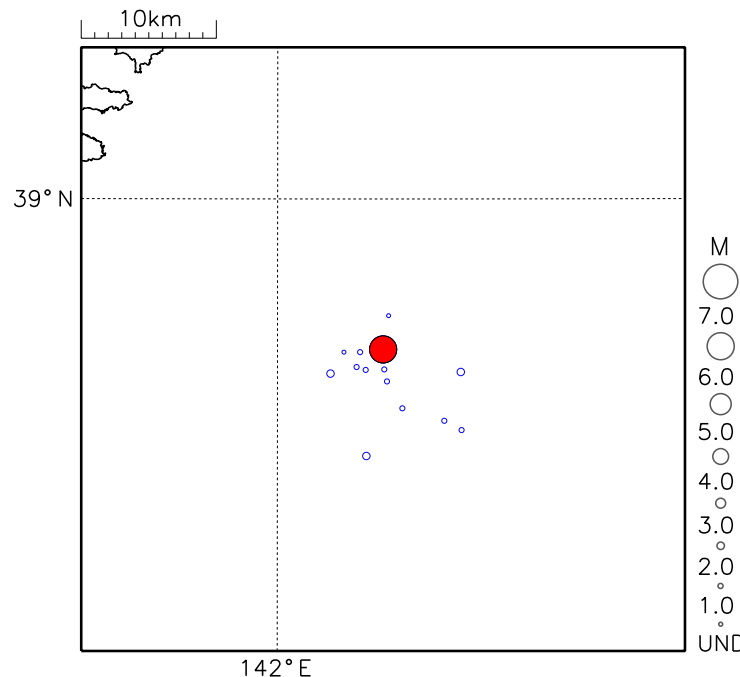
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

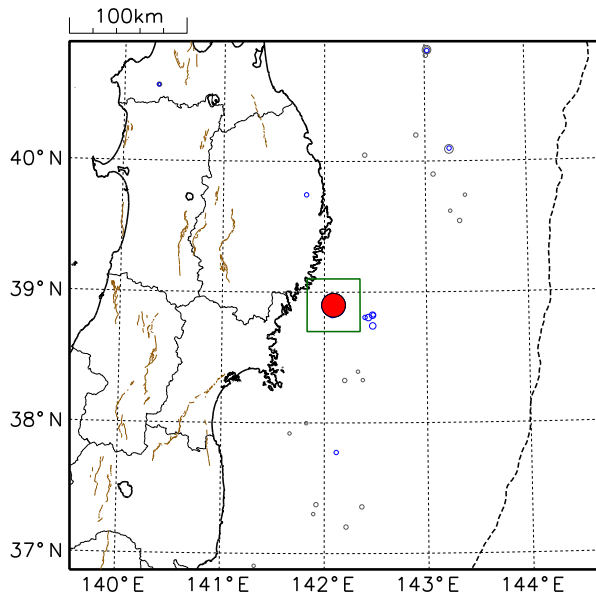
2026 05 15 18:00 -- 2026 05 15 21:10



震央分布図（広域図）

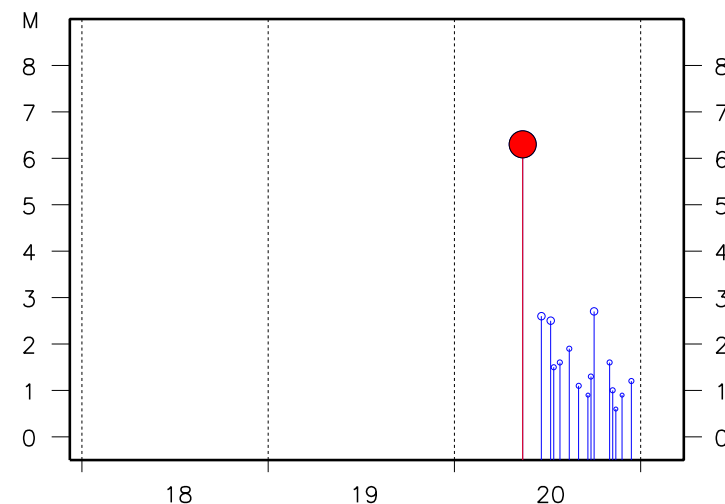
深さ0 -- 100km、 M 全て

2026 05 15 18:00 -- 2026 05 15 21:10



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 05 15 18:00 -- 2026 05 15 21:10



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

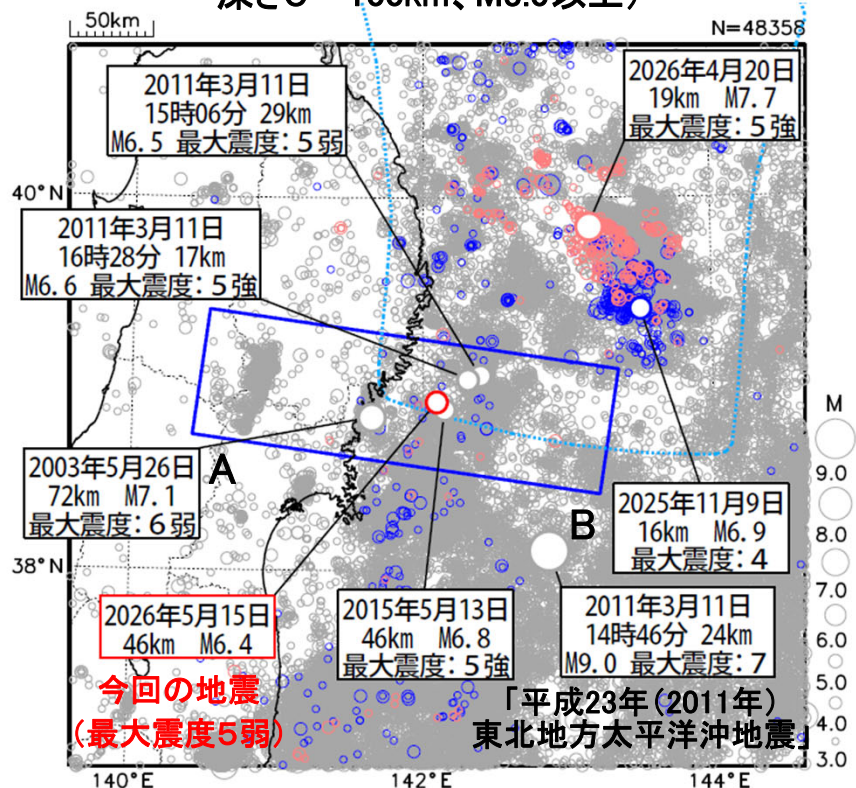
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

令和8年5月15日 宮城県沖の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1997年10月1日～2026年5月15日20時23分、
深さ0～100km、M3.0以上)



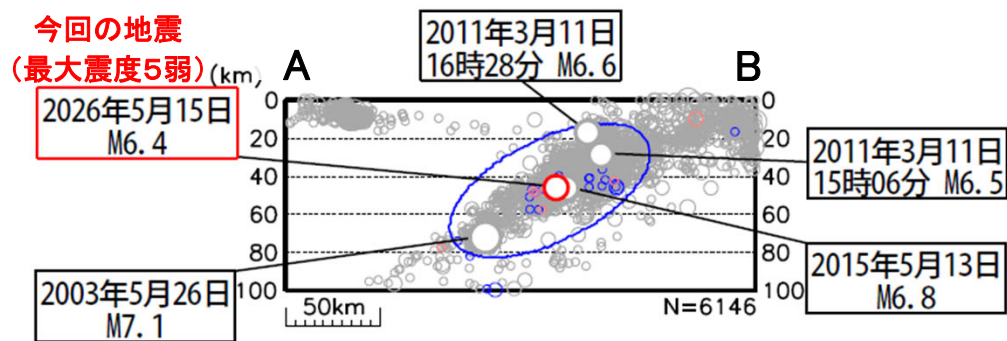
青点線は千島海溝・日本海溝巨大地震の想定震源域
(「十勝・根室沖」及び「日高・三陸沖」の領域)を示す。

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

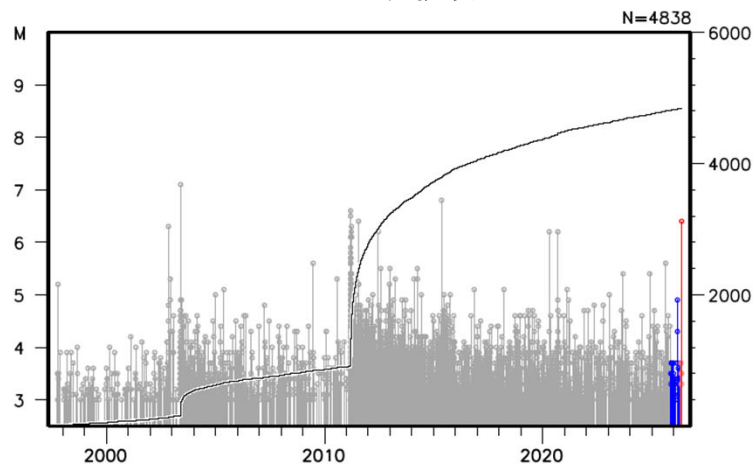
- 2025年11月9日～2026年4月19日
- 2026年4月20日～2026年5月15日20時22分
- 今回の地震
- 上記以外の期間

左図の四角形領域内のA-B断面図

縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。



上図の楕円領域内の地震活動経過 および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。
折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

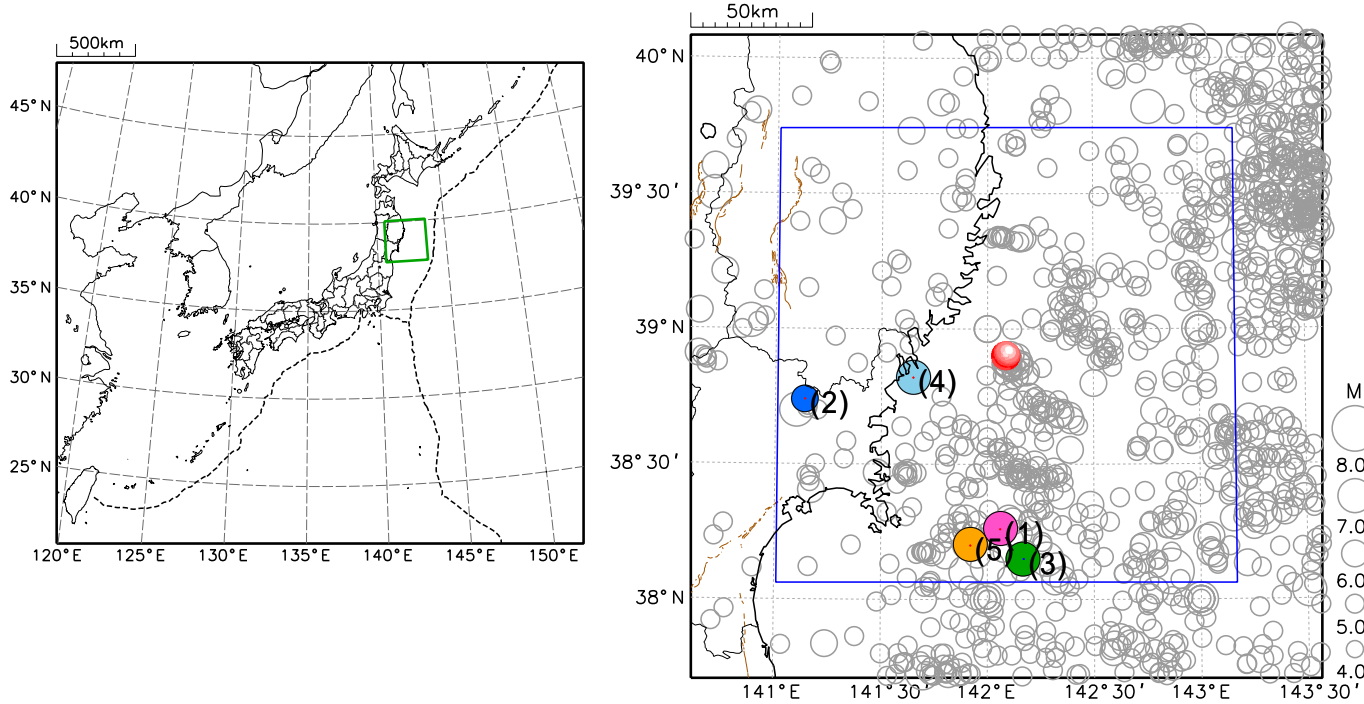
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

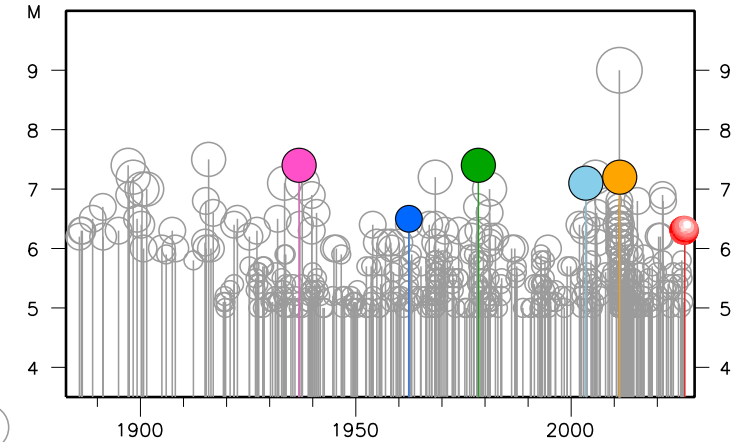
M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2026 05 15 20:27



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1936年11月03日 M:7.4 宮城県沖

(2) 1962年04月30日 M:6.5 宮城県北部
「宮城県北部地震」

(3) 1978年06月12日 M:7.4 宮城県沖
「1978年宮城県沖地震」

(4) 2003年05月26日 M:7.1 宮城県沖

(5) 2011年04月07日 M:7.2 宮城県沖

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。

名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他に存在することを示す。

名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

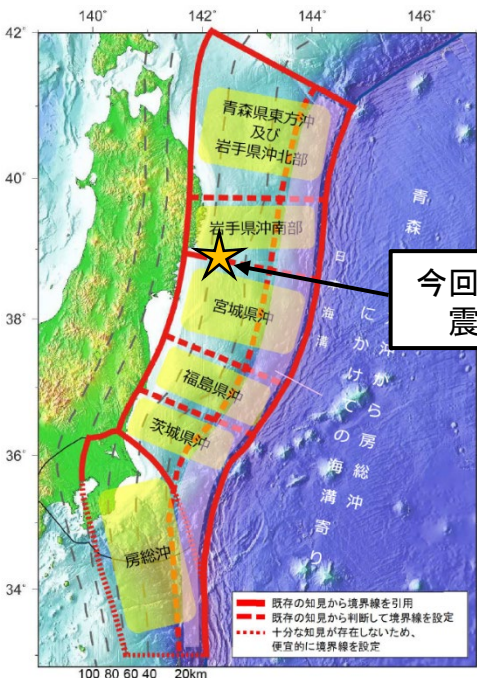
・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

●想定される地震の震源域(注1)



今回の地震の
震央位置

周辺で想定されている海溝型地震

○今回の地震の震源周辺では、日本海溝沿いで発生する大規模地震が想定されています。

海域で発生した規模の大きな地震後に見られた地震活動の例

○過去には、2008年の茨城県沖の地震のように、大きな地震の発生後、より大きな地震が発生し、当初の活動域が広がった例もあります。しかし、2004年の釧路沖の地震のように、より大きな地震は発生せず、地震活動域が広がらなかった例もあります。

●海溝型地震の長期評価の概要(日本海溝沿い)(注1)

評価対象地震	発生領域	想定される規模	ランク(注2)	平均発生間隔
超巨大地震(東北地方太平洋沖型)	岩手県沖南部～茨城県沖	M9.0程度	Iランク	550～600年程度
プレート間巨大地震	青森県東方沖及び岩手県沖北部	M7.9程度	Ⅲランク	97.0年
	宮城県沖	M7.9程度	Ⅱランク	109.0年
ひとまわり小さいプレート間地震	青森県東方沖及び岩手県沖北部	M7.0～7.5程度	Ⅲランク	8.8年
	岩手県沖南部	M7.0～7.5程度	Ⅲランク	88.2年
	宮城県沖	M7.0～7.5程度	Ⅲランク	12.6～14.7年
	宮城県沖の陸寄りの地震(宮城県沖地震)	M7.4前後	Ⅲランク	38.0年
	福島県沖	M7.0～7.5程度	Ⅲランク	44.1年
	茨城県沖	M7.0～7.5程度	Ⅲランク	17.6年
海溝寄りのプレート間地震(津波地震等)	青森県東方沖から房総沖にかけての海溝寄り	Mt8.6～9.0(注3)	Ⅲランク	102.8年
沈み込んだプレート内の地震	青森県東方沖及び岩手県沖北部～茨城県沖	M7.0～7.5程度	Ⅲランク	22.0～29.4年
海溝軸外側の地震	日本海溝の海溝軸外側	M8.2前後	Ⅱランク	411.2年

(注1) 2019年2月26日公表の「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」より引用。

(注2) 海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明(すぐに地震が起きることを否定できない)を「Xランク」と表記しています。ランクに「*」を付記している場合は、地震後経過率が0.7以上を表しています。

(注3) Mtは津波の高さから求める地震のマグニチュードです。

※本資料は以下を基に作成しました。

「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(地震調査研究推進本部) <https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran.pdf>

「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」(地震調査研究推進本部) https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/japan_trench.pdf

発表した情報などについて

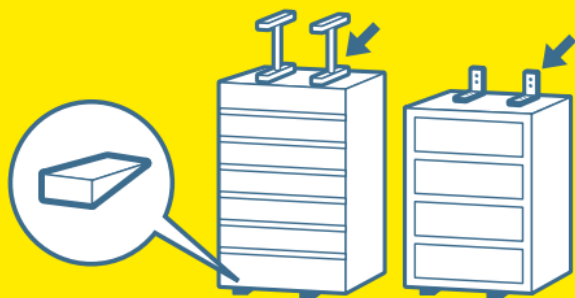
- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai



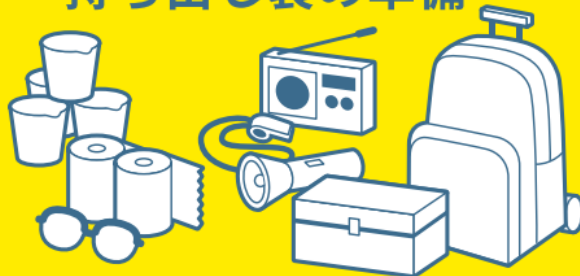
日頃からの地震への備え

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

□ 家具の固定



□ 非常用 持ち出し袋の準備



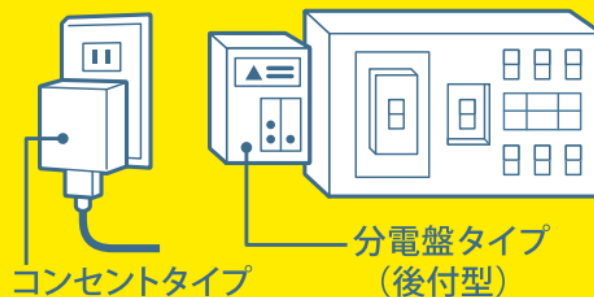
□ 水や食料の備蓄



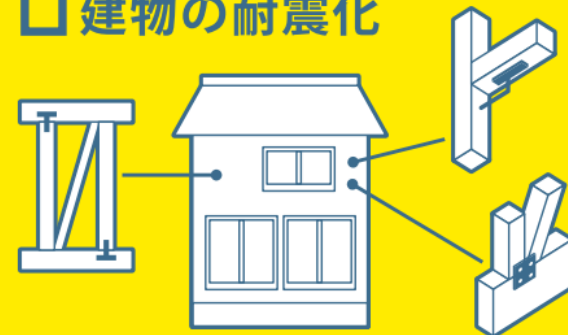
□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



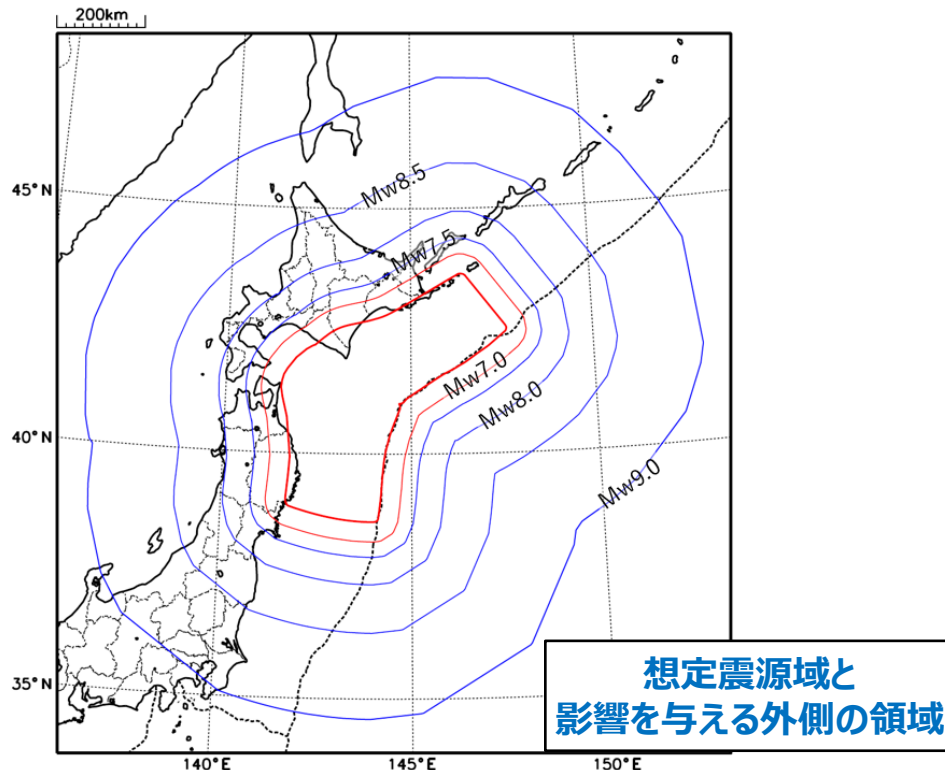
日頃からの備えについては、以下のページでもご確認いただけます。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html

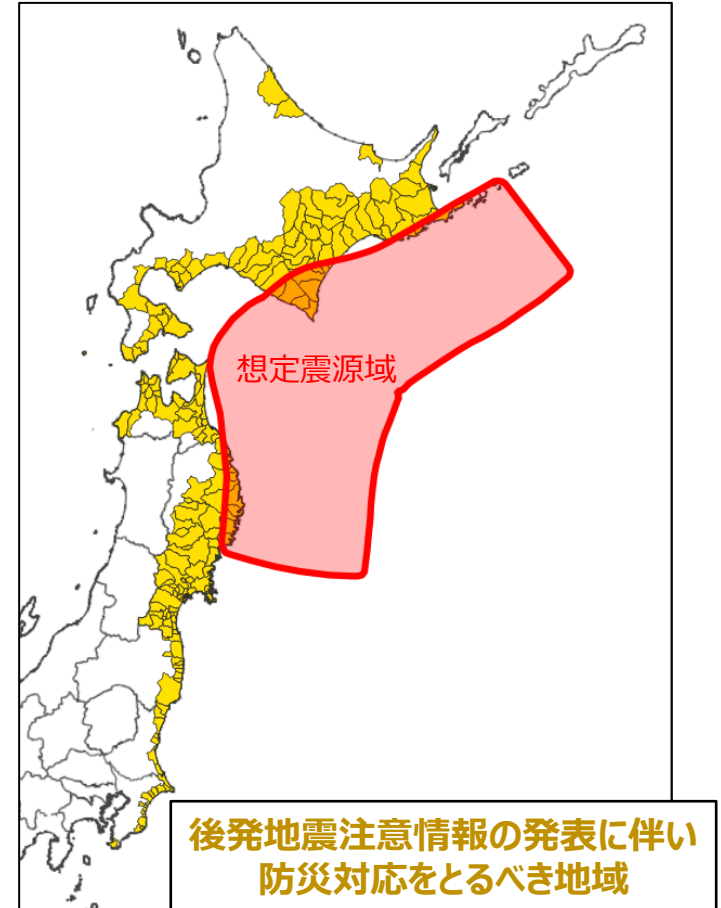
津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html

(参考) 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

- 千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域及び想定震源域に影響を与える外側のエリアでモーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合に、続けて大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まっていることをお知らせする情報
- 運用開始：令和4年12月



※ 想定震源域（太い赤線）に影響を与えと考えられる範囲の広がり「宇津の式」を用いて算出し、モーメントマグニチュード (Mw) ごとにコンターを描画。



北海道・三陸沖後発地震注意情報についての詳細は、以下のページでご確認いただけます。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/nceq/info_guide.html